

高齢者の皆さん、予防接種はお済みですか？

インフルエンザワクチン・肺炎球菌ワクチン

インフルエンザワクチン

インフルエンザは感染力が非常に強く、高熱や関節痛などの全身に症状が出るのが特徴です。

一人一人が予防に努め、感染を避けるとともに、感染した場合には周囲の人につつさないように注意しましょう。

このように予防するの？

①咳エチケットの実施

・咳やくしゃみが出たら、他の人につつさないためにマスクの着用を徹底する。
・鼻汁や痰などを含んだティッシュは、すぐにふた付きのゴミ箱に捨てる。

②手洗い・うがいの徹底

・外出先から帰宅した際は、手洗いやうがいをする。

③流行した際の行動は？

・不用意な外出はできる限り避ける。

・外出時には必ずマスクを着用する。

・栄養バランスの摂れた食事

と十分な睡眠をとる。
・温度や湿度など室内環境を調整する。



■予防接種費用の助成制度のご利用を

◇対象者

接種日現在65歳以上の方
(対象者には、予診票を送付しています。)

また、60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害がある方も接種の対象となりますので、接種希望の場合には、身体障害者手帳を持参し保健課にお申出ください。

◇接種費用

医療機関により費用が異なりますが、2,500円までは公費負担します。
※2,500円を超える差額は

肺炎球菌ワクチン

肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ唾液などを通じて飛沫感染します。早期に予防接種を実施し、肺炎の発症及び重症化予防に努めましょう。

■予防接種費用の助成制度のご利用を

◇対象者

平成26年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上の方が定期接種の対象となります。
(対象者には、予診票を送付

しています。)

また、60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害がある方も接種の対象となりますので、接種希望の場合には、身体障害者手帳を持参し保健課にお申出ください。

※任意接種で既に肺炎球菌ワクチンの接種を受けた方は対象外となります。

◇接種費用

1 / 2 公費負担 (上限4000円で1000円未満は切捨て)

ただし、実施期間外及び指定医療機関以外での接種の場合は全額自己負担となりますのでご注意ください。

◇実施期限 3月31日(火)

医療機関等の詳細についてはお問い合わせください。

※66歳以上の方で本年度定期接種対象外の方にも、任意予防接種費用の一部助成を継続して行っています。接種を希望される方は事前に申請が必要ですので、必ず接種する前にお問い合わせください。

■問い合わせ

保健課健康増進担当

☎23-4310

危険ドラッグは、
買わない!
使わない!
かかわらない!

危険ドラッグは、「合法ハーブ」「お香」「アロマオイル」「バスソルト」などと呼ばれて販売されていることがあります。これらは、覚醒剤や麻薬などよりも危険な物質が含まれていることがあり、大変危険です。

危険ドラッグを使用すると呼吸困難を起したり、死亡したりすることがある他にも、異常行動を起して車を暴走させるなどして他人を傷つけたりもします。

薬事法に基づき指定された薬物を含む「危険ドラッグ」は所持しただけでも犯罪ですので、絶対に危険ドラッグは、買わない、使わない、かかわらないようにしましょう。

■問い合わせ

保健課健康増進担当

☎23-4310

県衛生薬務課

☎055-223-1491